

インド

カルカッタ地下鉄建設事業



本事業により建設された地下鉄駅構内

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	4,800百万円 / 4,671百万円
借 款 契 約 調 印	1983年2月
借 款 契 約 条 件	金利2.75%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1992年3月

[事 業 概 要]

カルカッタ市（現コルカタ市）の地下鉄建設計画のうち、技術的に困難な区間の工事を支援することによって早期完成を図り、市内交通の改善に寄与するもの。

[評 価 結 果]

本事業は全体で約17km（17工区）の地下鉄計画のうち、技術的に困難で工事の進捗が遅れていた区間（約5km、5工区、6駅）を対象とした。

掘削、軌道建設等の工事は地元企業が行い、1987年を目標として83年に着工されたが、中央政府と州政府の調整不足等による土地取得、建設機械の輸入手続き、下水道等の地下構造物、道路交通渋滞による工事の制約等の問題により、工事は大幅に遅延し、全線の開業は1996年となった。

完成後の地下鉄の利用客数は、97年70百万人が、99年56百万人に減少した後、2000年71百万人、2001年80百万人と増加傾向にあるが当初計画（旧ソ連の協力によるF/S）との比較では約1割余りである。これは計画値が過大であったことに加え、地下鉄と同一ルートで営業するバス・ミニバスとの競合等が影響していると思われる。

JBICは1997年に援助効果促進調査（SAPS）により地下鉄運営の改善策を提言したが、西ベンガル州政府及び地下鉄当局では、現在、関係省庁との連携のもとに、同提言に含まれたバス・ミニバスルートの変更、列車運行間隔の短縮、料金体系の見直し、地下鉄延伸計画等の検討を行なっている。